

主題	労働災害防止にかかる長崎労働局長のメッセージについて！！				
日時	平成26年7月1日(火)	場所	三菱重工業(株)長崎造船所	参加者数	約600名
主 旨					
<p>本年度の全国安全週間は、「みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害」をスローガンとして、7月1日から7月7日まで実施されます。</p> <p>長崎労働局長(局長 小鹿昌也)は、当該週間の初日に長崎県のリーディングカンパニーである三菱重工業(株)長崎造船所において、関係労働者に対し労働災害防止に関するメッセージを発信しました。</p> <p>長崎県内の平成26年の休業4日以上の労働災害発生件数は、5月末の時点で502件発生しており、過去5年の同期比でみると最も増加している状況にあります。また、死亡災害についても平成26年6月末の時点で6件も発生しており、憂慮すべき状況にあります。</p> <p>長崎労働局では、このメッセージ発信を広報することにより、造船事業に携わる多くの労働者はもちろん、長崎県下各産業に従事する労働者に対し、さらなる労働災害の防止とその気運の醸成を図る上で波及効果を期待します。</p>					
概 要					
<p>長崎労働局長からは造船所構内の関係者に対し、労働災害防止の啓発にあたり、下記内容等のメッセージがあり、出席した関係者の皆さんには『ご自身も含めて同僚や仲間の中からは絶対に怪我人を出さない、出させないという強い信念を持ち、毎日の作業に励んでいただきたい。』と伝達し、メッセージを締め括りました。</p> <p>(局長メッセージ(抄))</p> <p>安全週間を契機として、再度、労働災害防止の重要性を認識し、着実な安全活動の推進を図ること。</p> <p>長崎労働局では、第12次労働災害防止計画(5か年計画(H25-29))では、造船業を重点業種の一つに掲げ、平成29年までに平成24年と比較して、休業4日以上の死傷者数を20%以上減少させることを目標としており、この達成には、皆さんの着実な安全活動の実践が不可欠であるということ。</p> <p>特に、機械設備等の点検整備の確実な励行、予め定められた安全な作業方法や作業手順の遵守といった基本的な事項の徹底について改めて留意すること。</p> <p>国の委託事業として「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」に基づき、配管艤装や高度な溶接といった専門的知識や技能の伝承を行うにあたり、熟練技能工の皆さんには、これに併せて安全作業に係るノウハウの継承についてもご配慮をお願いしたいということ。</p> <p>この時期は熱中症が懸念される時期になりますので、こまめな水分補給など熱中症予防対策に留意すること。</p>					
			<p>(概況)</p> 		
			<p>(局長訓話)</p> 		